

### Astemo の資本構成変更および連結子会社化について

Honda は、持分法適用関連会社である Astemo 株式会社（以下、Astemo）の株式を株式会社日立製作所（以下、日立）から 21%相当追加取得し、連結子会社とすることを決定しました。

Astemo は、2021 年 1 月に、日立オートモティブシステムズ株式会社、株式会社ケーヒン、株式会社ショーワおよび日信工業株式会社の 4 社の経営統合により発足しました。

2023 年 10 月には JIC キャピタル株式会社（以下、100%子会社である JICC-01 合同会社が運用する JICC-01 投資事業有限責任組合を含め、JICC）を新たな共同パートナーとして迎え入れ、出資比率を現在の Honda 40%、日立 40%、JICC 20%に変更しました。高いソフトウェア開発力を強みとしながら、先進分野への投資を加速し持続的に成長していくとともに、グローバルメガサプライヤーとしての地位を確固たるものとすることを目指してきました。

一方、自動車業界を取り巻く環境は絶えず変化しています。特に、モビリティの価値が、従来のハードウェアを主体としたものから自動運転や無線更新で機能を高められる技術などを含めたソフトウェアデファインドビークル（SDV）へと変化していく流れは今後も加速していくものと見ており、Honda は、SDV 開発力やコスト競争力の向上に一層のスピード感をもって取り組んでいます。

Honda にとって Astemo はハードウェアのみならずソフトウェアにおいても高い技術を持つ重要なパートナーであり、SDV 開発やコスト競争力において、Honda がさらなる向上を目指すうえで、同社の成長は欠かせないものです。激しい環境変化の中、Astemo が SDV 時代に必要となる AI やソフトウェアを高効率かつ高速で開発できる体制の構築を推し進めるために、Honda が親会社としてその変革をリードすることが必要と考え、日立から 21%相当の株式を追加取得し、Honda と日立と JICC はこのたび、Astemo における出資比率を Honda 61%、日立 19%、JICC 20%に変更することに合意しました。

今後、競争法やその他の法令などに基づき必要なクリアランスや許認可の取得を経て、2027 年 3 月期第 1 四半期中に株式の取得を実施する予定です。

Honda は、新たに親会社となり Astemo の IPO を視野に入れたグローバルサプライヤーとしての成長をリードしていきます。